「WORK分析を使おう」

JP法株価分析システムのメインメニューにあるWORK分析は、一般的なテクニカル 指標について調べることが出来ます。

J P 分析、WORK分析は「シート」というものを軸に設計されています。

JP分析は、JP法に特化したシート内容となっており、WORK分析は一般的なテクニカル指標のシート内容となります。

このシートの内容に従って、チャート上にサインを表示させる「チェック機能」、どの 銘柄が合格したきたかを調べる「検索」、過去どのくらいの確率で利益が出たかを調べ る「検証」、合格した数をカウントする「合格数検索」があります。

今回は「チェック機能」について解説します。

■チェック機能

チェック機能とは、チャート上にサインを表示させる機能の事です。

サインを表示させるにはシートに内容をセットする必要があります。

例えば、周期14日の相対力指数(RSI)が30以下の日を知りたい。 といった場合をみていきましょう。

まずは、銘柄を表示させます。

例として7203トヨタで調べてみます。

日足チャートを表示させ、「条件」→「WORKシート編集」をクリックします。



拡大

WORK JP-1:	7203(225)卜3夕自動車 日足	東証プライム	輸送用機器 発行株:13,513,860千株 資本金:
機能(1) 種別(2)	条件(3) パー 前銘柄(4)	次銘柄(5)	再描画(6) 指標(7) 読込(8) 表示期間(0)
銘柄 7203 トヨタ日	(WORKシート編集(,)	F4	6 2000 0 🗸 Scale 🗆 0 🔺
3000	WORKチェック(=)	F5	
	WORK読み取り(/)	F6	
	自動設定	F7	
2700	シミュレーション	Shift+F2	
Contract Contract Contract Contract	1 1	18	

ここでは99番シートを使います。



99番シートが表示されます。まず内容を消去しますので「初期化」をクリックします。

	E 00#	4		- 202	1	211						1955	-	~
	1 998	f .											U	^
										V				
Et =						Hu 'r		o vel		5TT #12 / L	ro Pu		881"	7
一寬衣						HX 72			変更	初期16		1未1子	जि	9
	チェック	周期			∨字			以上			以下			
		短	中	長	短	中	長	短	中	長	短	中	長	
弾性値														
カイリ度	1	25									-20			
Sカイリ度														
コストカイリ度														
Sコストカイリ度														
順位相関係数(RCI)														
相対力指数(RSI)														
<u>サイコロジカルライン</u>														
オシレータ														
RCI(加速度指数)										_				
STC	_													
M指標(周期固定)		4.13	9.26											
MAV指標(周期固定)		4.13	9.26											
出米高倍率2														
S相対力指数(RSI)														
<u> </u>														
VR()(# 91~40941)														
VR (g) (小 ソュームレンオン) 手を手も立 せつ(の)														
移動工物の														
山値線の(宮値採用)														
<u>十進隊</u> (高進休用)													-	
林価位置														
中值線														
<u></u> 高值安值線変動率														
出来高移動平均														
													1	
•			1		1	1	1	1	1	1	1			Þ

「はい」 をクリック

条件初期	明化画面	×
現在表	示しているシート条件を衫	の期化します。
	[
	はい(公)	いいえ(N)

シートの内容がクリアされました。

	用 99番	ŧ										-	
一覧表						取记		sv	変更	初期化	印刷	保存	閉じる
	チェック	周期			∀字			以上			以下		
		短	中	長	短	中	長	短	中	長	短	中	長
弾性値													
カイリ度													
Sカイリ度													
コストカイリ度													
<u>Sコストカイリ度</u> 順位相関係数(RCL)													
相対力指数(RSI)													
サイコロジカルライン	1												
オシレータ	1 /												
RCI(加速度指数)													
STC	17												
M指標(周期固定)	17												
MAV指標(周期固定)	/												
出来高倍率													
出来高倍率 2													
<u>S相対力指数(RSI)</u>													
<u> </u>													
R J 指数													
<u>VR①(ボリュームレシオ1)</u>													
VR@(#`リュームレシオ2)													
移動半均①													
移動平均(2)													
ハイローハンド	-												
中進線①(高進採用)	-												
<u>中値線図(女値採用)</u> 株在在業													
1杯11回120直													
<u>工</u> 恒 砌	-												
山東立移動平均													
표초 여 19 회 구원													
	1			1	1	1	1		1	1			
													•

ここから、チェックしたい内容である「周期14日の相対力指数(RSI)が30以下」 をセットしていきます。

相対力指数は上から7番目に登録されてます。

ここを右に見ていき、数値を入力していきます。

まず、チェックに「1」を入力します。

これをしないと、数値を入力してもチェックしません。チェックしないので当然チャー ト上にサインは表示されません。 WORKシートには、同時に異なる3つの周期について調べることが出来ます。

それら3つを便宜上、「短」、「中」、「長」と表示しています。



今回は、「14」という1つの周期しか使いませんから、以降の入力は全て「短」の項 目にセットしてきます。

まずは周期の項目に「14」を入力します。

	チェック	周期			∨字			J
		短	中	長	短	中	長	3
弾性値								
カイリ度								
Sカイリ度								
コストカイリ度								
Sコストカイリ度								
順位相関係数(RCI)								
相対力指数(RSI)	1	14						
サイコロジカルライン								

続けて以下の項目に「30」を入力します。

以上			以下			ĺ
短	中	長	短	中	長	
						ĺ
			30			ĺ
						ĺ
						ł

シートはこうなります。

/ /PJ /VJ			∨字			以上			以下		
短	中	長	短	中	長	短	中	長	短	中	長
										_	
1 1	4								30		
	<u>短</u> 1 1 1 4	短 中 1 14	<u>短中</u> 長 1114 日本 1114	短 中 長 短 1 14	短 中 長 短 中 1 14 <	短 中 長 短 中 長 1 14	短 中 長 短 中 長 短 1 14	短 中 長 短 中 長 短 中 2 - - - - - - - - - - - - - - - - - - - - - - - - - - - - - - - - - - - - - - - - - - - - - - - - - - - - - - - - - - - - - - - - - - - - - - - - - - - - - - - - - - - - - - - - - - - - - - - - -	短 中 長 短 中 長 短 中 長 1 14	短 中 長 短 中 長 短 中 長 短 2 - - - - - - - - - - - - - - - - - - - - - - - - - - - - - - - - - - - - - - - - - - - - - - - - - - - - - - - - - - - - - - - - - - - - - - - - - - - - - - - - - - - - - - - - - - - - - - -	短 中 長 短 中 長 短 中 1 14

これでシートの内容は終わりましたから「保存」をクリックします。

₩ ORK分析シート 日足月	月 99番	ŧ		- 10	10	8				<hr/>		34 <u>113</u>		×
														_
一覧表						取込		sv	変更	初期化	印刷	保存	閉じ	る
	チェック	周期			∨字			以上			以下			1
		短	中	長	短	中	長	短	中	長	短	中	長	:
弾性値														
カイリ度														
Sカイリ度														
コストカイリ度														
Sコストカイリ度														
順位相関係数(RCI)														
<u>相対力指数(RSI)</u>	1	14									30			
<u>サイコロジカルライン</u>														
オシレータ														
<u>RCI(加速度指数)</u>														
STC														
M指標(周期固定)														
MAV指標(周期固定)														
出米高倍率2	-													
S相対力指数(RSI)														
SAVU-9														
VD(0)(±2)(-40)(1)														
110g/(〒 /1-4//42) 検動亚均介														
19 助 1 4 10 移動平均の														
ハイローバンド														
中値線の(高値採田)														
中値線の(安値採用)														
株価位置														
中值線														
高值安值線変動率														
出来高移動平均														
•														Þ



これで99番シートに「周期14日の相対力指数(RSI)が30以下」がセットされ ました。

次にチャート上にこの内容と合致する日(サイン)を表示(チェック)させてみましょう。

条件→WORKチェックをクリックします。

WORKチャート: 7203(225) トヨタ自動車 日足 東証プライム 輸送用機器 発行株: 13,513,860千株 資本金: 397,050百万 引機能(1) 種別(2) 条件(3) パー 前銘柄(4) 次銘柄(5) 再描画(6) 指標(7) 読込(8) 表示期間(0)

銘柄 <mark>7203</mark> トヨタE	WORKシート編集(,)	F4	6 2000 0 ▼ Scale □ 0 ◀ ▶ 1
3000	WORKチェック(=)	F5	
	WORK読み取り(/)	F6	
	自動設定	F7	
2700	シミュレーション	Shift+F2	
	1	1	

チェックする最初のシート番号をたずねてきます。 ここでは99番シートにセットしましたので、99と入力し「OK」をクリック



次にチェックする最後のシート番号をたずねてきます。 ここでも99番シートにセットしましたので、99と入力し「OK」をクリック



※チェックは複数シートを一気にする事が出来ます。

今回は99番シートだけですが、1番から10番などといったチェックが可能です。

その場合、1番から10番までの全てのシートに内容をセットしておく必要があります。

7番、8番シートはチェックしない。というわけにいはいきません。

複数のシートをチェックする場合、ORのチェックです。どれか1つに合格していれば チャート上にサインが表示されます。

1番から10番をチェックした場合、それぞれのシートに合格したらサインが表示されます。

1番から10番まで全てに合格したらサインを表示する。というANDの機能はありま せん。

このように表示されます。チャート上、縦線が引かれている日が合格日です。



チャートの下に出来高が表示されていますが、これを今回チェックした周期14日の 相対力指数(RSI)を表示させてみましょう。

機能→指標から表示も出来ますが、99番シートに登録されている指標を表示させるに は、指標をクリックします。 指標→相対力指数をクリックします。



99と入力し「OK」をクリック



チャート下に周期14の相対力指数が表示されました。



下記のように中、長にも周期を入力した場合、

	チェック	周期			∨字		
		短	中	長	短	中	長
弾性値							
カイリ度							
Sカイリ度							
コストカイリ度							
Sコストカイリ度			\mathbf{A}				
順位相関係数(RCI)							
相対力指数(RSI)	1	14	28	50			
サイコロジカルライン							

指標→相対力指数の表示はこうなります。3本表示されます。



いかがでしたでしょうか?比較的簡単にサインを表示出来ることがお分かり頂けた事と思います。WORK分析は一見、取っ付きにくいですが皆様も是非、チャレンジされてください。ご不明点はご連絡ください。動画で解説も可能です。